

令和4年度庄原市教頭・事務長研修会

令和4年6月20日（月）14:00～16:35 庄原市口和自治振興センター 第1会議室

庄原市教育行政施策の方針を踏まえ、今日的教育課題の解決に向けた方策や組織的な学校運営のための教頭・事務長の果たすべき役割について理解することを通して、自校の学校運営のより一層の充実と改善に資することを目的に研修会を行いました。

【講話】「地域とともにある学校づくり～コミュニティ・スクールの機能を活用して～」

広島県教育委員会義務教育指導課 指導主事 半田 光紀

■県内におけるコミュニティ・スクールの導入状況やこれまでの学校評議員制度との違い、県内における実践事例について講話をいただいた。府中市立府中明郷学園、府中市立上下北小学校及び上下南小学校の学校運営協議会の実践事例の紹介を通して、市内学校職員の理解や取組の方向性を示していただいた。



【参加者の感想等】

- ◆子供たちに力を付けることを目的としてコミュニティ・スクールがあることを忘れず、子供に育てたい「資質・能力」の共有を行っていききたい。
- ◆学校の明確なビジョンや計画についてしっかり協議し、方向性を合わせて取り組むことが重要であると感じた。
- ◆総合的な学習の時間を中心に、生徒に力を付けるという観点から、学校運営協議会を機能させていきたい。

【報告】

「東城中学校の取組について」

東城中学校 教頭 坂口 真弓

【交流・協議】

「各校の学校運営協議会の状況について」

教育指導課 指導係長 辻坊 健作

■東城中学校における学校運営協議会の実践事例を報告するとともに、各校における第1回学校運営協議会の様子や今年度の取組の方向性について交流・協議を行った。



【参加者の感想等】

- ◆事務長として、共同事務室でもコミュニティ・スクールの実践事例等を共有し、自校の基本方針等を交流する。
- ◆東城中学校の実践事例から、地域とともにある学校運営協議会をつかっていく方法はたくさんあることが参考になった。また、生徒が変容していく様子が手に取るようになった。
- ◆生徒の活動と学校運営協議会とをつなげた取組をつかっていきたい。